

サービス推進室では、医療安全に関する情報を収集し、看護現場で役立つポイント等を付加して提供しています。それぞれの現場に応じた点検ツールとしてお役立てください。

## No.1

神戸市の病院で、心電図の波形などを病室からナースステーションに送る発信機の電池切れにより、患者変化に気付くのが遅れた事例が発生しました。

### 原因と対策について(市ホームページより引用)

#### 発生状況と経緯：

平成30年11月から頸椎椎間板ヘルニアで入院、同月実施した頸椎の手術後に合併症と思われる下肢等の麻痺が発生し、再度手術を行った。呼吸管理のため、人工呼吸器管理を行っていた。

平成30年2月24日午前1時

使用する装置  
個々の患者の心電図、心拍数、血圧、体温等  
装置で、情報はセントラルモニターにも反映される。

### 電池式の医療用具の取り扱いについて、見直しましょう！

公益財団法人 日本医療機能評価機構の医療安全情報でも取り上げられています。そこで推奨している取り組みは以下の2点です。

・送信機の電池残量やセントラルモニター画面の表示を意識して確認し、電池残量が少ないことに気付いた場合は直ちに電池を交換する。